

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和4年 7月 22日

評価対象事業		評価者	生涯学習課担当課長 森 啓匡	
教育-50	鎌倉歴史文化交流館管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	生涯学習課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	文化財課・大河ドラマ担当
総合計画上の位置付け	分野	歴史環境	施策の方針	文化財の保護

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉の歴史及び文化に関する展示や教育普及事業の実施により、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産に対する市民等の理解を深めるとともに、交流の場の提供により市民の交流を促進するため。
効果	市民等の歴史学習の環境をつくり、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産を未来へ継承する意識の醸成を図る。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

新型コロナウイルス感染拡大対策を講じながら、企画展や特集展示を開催するとともに、解説を行った。また、大学生のインターンシップや教員5年目研修を受け入れを行った。
大河ドラマ放送を契機に、関連した企画コーナーを設置したほか、連続講座の開催、YouTube動画配信及び北条氏に関する発行物等の執筆・監修などを行った。また、鎌倉国宝館や鎌倉殿の13人 鎌倉市推進協議会等と連携した取り組みを行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値)	事業費(決算/当初)(千円)	指標(目標値)	
01	歴史文化交流館展示・教育等事業	展示・イベント	入館者数(人)	21,661 / 20,500	7,106 / 9,462	21,000	
						22,085	
02	歴史文化交流館維持管理事業	総合管理業務 庭園管理業務	開館日数(日)	258 / 250		250	
					26,496 / 33,780	28,174	
03	歴史文化交流館維持修繕事業	各所修繕10件	(一)	- / -		-	
					1,723 / 3,422	3,422	
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	4,911 / 5,312		3,121	
			一般財源	41,791 / 53,472		68,397	
			事業費の合計(千円)	46,702 / 58,784		71,518	
			人件費(千円)		26,661	25,658	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	3.0	3.0	3.0			
会計年度任用職員	2.8	3.0	2.0			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	歴史文化交流館展示・教育等事業	指標分析の推移については、コロナ禍においては指標の設定は困難であるが、感染対策を講じながら現状維持を目指す。また、令和4年度においては大河ドラマに関連する要因から増加が見込まれる。大河ドラマ鎌倉殿の13人が令和4年1月から放映されること、また大河ドラマ館の開館に合わせ、鎌倉歴史文化交流館で鎌倉の歴史・文化を理解いただき、交流する場として、多くの観覧者に来ていただくことが重要である。	歴史的遺産と共生するまちづくりに貢献するうえで、最も重要な事業である。	平成29年の開館であり、鎌倉市民でも来館いただいている人も多く、認知度が低い。日曜・祝日が休館であること。展示面積・収蔵庫が不足していること。展示・収蔵環境がよくないことで重要文化財等が展示できない。
02	歴史文化交流館維持管理事業	指標分析の推移については、コロナ禍においては指標の設定は困難であるが、感染対策を講じながら現状維持を目指す。誇れる建物・景観も含め、多くの方に見ていただける機会を増やす必要があるため。	歴史的遺産と共生するまちづくりに貢献するうえで、必要な事業である。	建物の意匠や景観を損ねないように維持管理をする必要がある。なお、大規模な修繕等を行う場合は、来館する機会の喪失にも繋がることから、計画的な修繕の実施や修繕工事の周知など来館者に配慮した取組を行っていく。
03	歴史文化交流館維持修繕事業	鎌倉歴史文化交流館の修繕を含め、実施しているが、それらは目標値の設定にはなじまない。	施設・設備の修繕業務は、展示や教育普及活動を展開するうえで、必要な事業である。	鎌倉歴史文化交流館は、平成29年に個人住宅を改修し、開設したもので、収蔵・展示環境が充分とは言えないことから、大規模な修繕等が必要になるため、順次対応していく。
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み	
	関連・類似する事業の統合はできないか	2 統合に向けて検討できる事業がある	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	2 民間によるサービスで代替できる事業はあるが、民間による提供が不足している	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
		○.協働実施済	○-2 市民等と協働して適切に事業を実施している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○.協働実施済	協働実施済の場合のパートナー 湘南工科大学 社寺等

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・変更	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・子どもから大人までが、鎌倉の歴史的遺産・文化的遺産を学び、体験し、交流できる場として、開館から6年目を迎えた。今後より多くの方に活用していただくためにも、新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、展示の改善・充実を図るとともに、大河ドラマ関連も含めた様々な企画を実施する予定である。</p> <p>・貴重な建物や庭園の維持管理を今後も適切に管理していく予定である。</p> <p>・将来的に収蔵庫の整備や展示環境の改善が必要である。</p>					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
鎌倉の歴史・文化を多くの人に理解してもらう必要があるため。	目標値	20,000	20,500	21,000	22,000	23,000	24,000	
	実績値	7,531	21,661					
	達成率	37.7%	105.7%					

指標(単位)	開館日数						単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
世界的な建物や素晴らしい景観を含め、多くの人に見てもらい機会を提供するため。	目標値	250	250	250	250	250	250	
	実績値	203	258					
	達成率	81.2%	103.2%					

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市	鎌木清方記念美術館	川喜多映画記念館				
令和2年度	7,531	6,056	10,568				
令和3年度	21,661	11,981	14,480				

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	比較的入館者数の近い近隣類似施設と毎年比較することで、鎌倉市内の傾向か鎌倉歴史文化交流館独自の傾向か推測できる。
--------------------------	--